

トップセミナー

TOP SEMINAR

本田技研工業株式会社 専務取締役
株式会社本田技術研究所 代表取締役社長 山本 芳春

12月17日(月)本校の理事長であり本田技術研究所の代表取締役を務める山本芳春さんをお招きしてトップセミナーを開催いたしました。

自動車業界を取り巻く課題に対し、目指すべき将来やHondaの取り組みについてお話しいただいたあと、サービスや開発の仕事を目指す学生たちへ「3つの直す」という考え方を話しいただきました。

サービスの出発点は、製品の性能が完全に発揮されるように「整備」することである。怒っているお客様の気持ちを察し、お客様の心も「直す」。そしてお客様の不満や品質情報などの貴重な情報を、いち早く開発や生産の場に伝えて、よりよい車になおしていく、すなわち開発そのものを「直す」。

これら「3つの直す」がお客様の笑顔を作っていくことになり、笑顔の大きさが品質の高さになります。品質というモノづくりにとって最も重要な部分を守っているのは現場であり、学生の皆さんに大いに期待するところであります。



海外就労研修プログラム

研修成果報告会

2012年12月、オーストラリア(AU)のメルボルンとニュージーランド(NZ)のオークランドにおいて研修成果発表会が行われました。

研修の総括として毎年行われているもので、お世話になった方々を前に研修成果を英語で発表しています。仕事で学んだ事や失敗談、旅行の話、将来の夢など、内容は自由ですが、今年はこれまで以上の素晴らしい発表会となりました。

AUでは、お気に入りのフットボールの応援歌を披露するなど、非常にアットホームな雰囲気となり、NZでは各自が熱のこもった発表で予定時間を大きくオーバーしたため、ランチタイムを挟んだ2回戦となりました。

渡航前の10名は大人しい印象でしたが、この日はその面影は無く、非常に自信に満ちた姿が印象的でした。AU・NZの大切な人々や環境の中で過ごした9ヶ月が彼らをここまで逞しくさせたのでしょう。AUホンダ、NZホンダの両社長より「これまでの中で最高の発表」というこれ以上ない評価をいただきました。



AU研修に参加した学生とAUホンダの皆さん



NZ研修に参加した国際科の皆さん

ホンダ学園 賛助会企業セミナー

2012年12月、ホンダ学園賛助会企業セミナーを開催いたしました。今年度は60社をこえる賛助会企業様にご参加いただき校内で企業説明会を実施していただきました。

本校では毎年10～12月までの3ヶ月間で、翌年早々に開始される就職活動に向けた準備を一齐に行っています。就職活動では「企業」「仕事」「自分」という3つのテーマについてしっかりと考える必要があります。「就職力養成研修」「企業研究会」に続く「ホンダ学園賛助会企業セミナー」は、学生が企業さまと直接面談し、具体的な企業情報を得ることのできる大変貴重な機会となっております。2日間で合計8社の説明会に参加す

ることができ、各ブースでは個別の質問にも丁寧に対応して下さっています。

ホンダ学園賛助会企業の皆さまによるこうしたご支援が行われているため、経済情勢にかかわらず、ホンダ学園では毎年高い就職内定率を維持することができています。

年明けには就職活動が本格的にスタートし、3月に入ると内定をいただく学生も増えてきております。

学業と就活の両立が大変な時期もあると思いますが、学生・教員が一体となって就職活動を推進してまいります。引き続き、学生へのご支援を宜しくお願いいたします。



高 信男
38年間、その間ホンダ学園で12年勤めさせて頂きました。学園を振り返ってみれば毎日が充実し、あつと言つ間に定年を迎えたように感じます。学生へ、どのように説明や実習を行えば理解してもらえるか試行錯誤の連続でした。理解してもらえた時は、うれしくなつたことを思い出します。学生の皆さんにおかれましては、先ず健康に留意し、日々の勉強以外に何か光る得意技を身につけて卒業し、自分を発揮、活躍することを願っております。長い間ありがとうございました。

吉澤 邦夫
ホンダ一筋39年間。自動車整備士として14年、クルマの市場品質改善業務、テクニカルセンターサポート業務、安全運転普及業務を経て、ホンダ学園では関西校、関東校で引退までの約9年を過ごしました。ホンダ学園では学生から「若いエナジー」をもらいました。私は、それぞれの「夢を胸に秘めホンダ学園に入学し、その夢に向かって努力をし、夢をかなえた学生」をたくさん見てきました。ホンダ学園は努力をすれば、それなりの成果が自分に返ってくるそんな素晴らしい学園です。苦しい時には入学前の志を思い出し、くじけず頑張つて立派な社会人になって欲しいと思います。応援しています。

木下 龍男
平成25年1月9日付で定年退職を迎え、退任することになりました。
平成5年1月1日に着任しましたので20年間、ホンダ学園で教員を務めてまいりました。20歳になった学生をみると「この子が生まれたときに着任したんだな」と月日の流れを感じておりました。正直、初めて担任になった時は「面倒くさい仕事だな」と思っておりましたが、学生が無事内定をもらい卒業する姿を見たときは「やってよかった」とも感じた次第です。振り返ってみれば、大変やりがいのある、すばらしい仕事でした。皆さんありがとうございました。

退職しました

アメリカ海外研修

2012年11月5〜12日、平成24年度海外研修を実施いたしました。

自動車整備科2年、自動車開発エンジニア科2年、一級自動車整備研究科3年が、研修の地となるアメリカへ出発



いたしました。

アメリカの自動車ビジネスとHondaの企業活動やグローバルな視点を高めること。そして異文化交流体験により人的な幅と視野の拡大を図ること。海外研修ではこうした目的を設定し、文化や価値観の違い、海外で働くために必要とされることなどを、理解していきます。

研修では、アメリカンホンダやホンダリサーチオブアメリカ(HRA)、現地ディーラーを訪問し施設見学だけでなく現地の人たちと英語でコミュニケーションを図りました。出国前、学生一人ひとりが英語で質問を考え、自分の英語がきちんと伝わったときの喜びはとて大きく、その表情から察すると、大きな自信になったようです。

現地ディーラー訪問では、

従業員(サービスマンやメカニック)が働いている様子を実際に見ることが出来ます。サービスマンやエンジニアを目指す学生たちは自分の働く姿を想像しながら、日本との違いやスケールの大きさを肌で感じることもできたのではないでしょう。

またHRAデザイン室の見学では、日本との比較を交えた話がとても分かりやすく、現地に売られている商品、開発手法、生産手法などがよく分かりました。

昨年同様に、アメリカンホンダの研修では「もっと話を聞きたい」「もっと見たい」という要望がとても多く寄せられています。今年も学生のみならず、今年も充実した研修となりました。

EXIDEN 新春駅伝 2013

1月20日(日)本田技研工業 埼玉製作所狭山工場で行われた、新春駅伝2013に自動車開発エンジニア科の学生が出場いたしました。当日は従業員の皆さんやHonda関連・関係企業の皆さん、総勢1,400名以上、約200チームが集まる大きなイベントになりました。



緊張のスタートラッシュ

大会は2部制で行われ、7区間に分けられた狭山工場の敷地内を走ります。1区間はだいたい1.5km程度。この日のために練習を重ねてきたチームも多く、各所で激しい順位争いが繰り広げられました。



選手の皆さんお疲れ様でした!

普段走り慣れていない学生の皆さんですが、放課後の時間を使ってしっかりと走り込みを行ってきました。その結果、たすきは途切れることなく無事に完走することができました。

BASKETBALL 校内バスケットボール大会

1月30、31日クラス対抗校内バスケットボール大会が開催されました。

学校敷地内の体育館で開催されたこともあり、ギャラリーには自分のクラスを応援する学生や教職員がたくさん集まりました。15チーム9クラスが出場し、昨年9月に行われた校内フットサルトーナメントに続く大きなスポーツ大会となりました。

大会は1日目の予選トーナメント、2日目の決勝トーナメントに分かれて行われ、山田先生率いる自動車整備科2年3組が優勝の座に輝きました。



15チーム9クラスが出場しました

高田純次さんが来校されました



Honda Magazine取材のため、高田純次さんがホンダ学園関東校に来校されました。自動車整備部が電気自動車に改造したN360EVに乗り込んだり、自動車開発エンジニア科で製作した折りたたみ電動バイクのプロトタイプを試乗してみたり、ホンダ学園の設立理由などが紹介されています。学生たちには思い出に残る1日になりました。

詳しくは2013 Spring「Hondaの謎 File 04」(P14～)をご覧ください。

異動しました



三好 正晴

2月1日付でカスタマーサービスへ異動いたしました。この春卒業する学生

のみなさんと同様に、期待と不安の入り交じった気持ちです。学生の皆さんにお願いです。今後の仕事や生活において目標を高め設定してみてください。「チャレンジ」する姿勢で困難に立ち向かってみてください。目標達成が厳しくなったり、抱え込まずに友人や先生方に相談してください。きっと良いヒントが見つかると思います。そしてこれからも仕事に遊びに励んでください。

着任しました



大井 良雄

3月1日付でホンダテクニカルカレッジ関西事務学生部よりホンダテクニカルカレッジ関東に転動して参りました大井です。

大阪に8年間暮らして大阪はもとより中国・四国を中心に学生募集をしていました。

関東も関西も想いは同じ8年間の経験を生かし未来のホンダを担う人材を発掘していきたいと思っています。関東地方が久しぶりで戸惑いが有りますが、よろしく申し上げます。



宇賀 広章

2月1日付でHSS整備技術開発Bより教務部サービスインジェニア課

へ赴任してまいりました。宇賀と申します。ホンダ学園関西校自動車整備科卒業生です。前職場では、サービスマニュアル制作(2輪/4輪/汎用)を担当させていただいております。未来のHondaを担う人材育成にやりがいを感じております。学生の皆様には、勉強はもちろんのことですが、車やバイクを操る楽しさも伝える事が出来ればと思っております。どうぞよろしく申し上げます。